

おひざのうえで 2026①

(副園長の子育て応援 Letter)

「正解」

せんりひじり幼稚園 副園長 安達かえで



お子さまのご入園・ご進級、おめでとうございます。

初めてお子様が入園される保護者の皆様は、きっと祈るような気持ちで送り出していらっしゃることと思います。「どうか楽しく過ごせますように」「どうかお友達ができますように」「どうか泣かないで過ごせますように…」

子どもたちは、幼稚園という新しい世界で、目や耳から周りの情報をいっぱい取り込み、心と頭をフル回転させています。今まで出会ったことのないモノやヒトと関わり、「これは何だろう」「何をしようかな」「どうやったらいいのかな」「誰に言おうかな」などを一生懸命に考えているのです。

楽しかったり、嬉しかったり、おもしろかったりする一方、困ったり、泣いたり、怒ったり、怖がったりすることもあるでしょう。だからこそ、そんな時に子どもがあらわす感情のすべてが「大正解」だと思ってください。泣くことも、怒ることも、楽しすぎて体が止まらなくなることも、どの感情も、その子のたいせつな感情であり、大きな成長の源です。

入園のこの時期に、「こうでなければいけない」なんてことはありません。思った事をすべて出して、先生に肯定的に受け止めてもらうことで、子どもたちは「自分が自分であっていいんだ」と安心できます。そしてそこから少しずつ、「どうしたいのか」「どうした方がいいのか」という、自分の中の正解を見つけていくのです。

RADWIMPS の『正解』という歌に、こんな歌詞があります。「喜びがあふれて止まらない夜の眠り方 悔しさでにじんだ心の傷の治し方 傷ついた友の励まし方 (中略) 明日からは僕だけの正解をいざ探しにゆくんだ」

この歌を聴くたびに心が震えます。子どもたちのこれからの毎日は、まさしくこの歌詞のように「自分の答えを見つけていく旅」の始まりです。感情を大きく揺さぶりながら成長していく子どもたちに、私たちは丁寧に寄り添い、愛情いっぱい包み込みたいと思っています。

また、私たち職員は、子どもの育ちを「足し算」のまなざしで見る「リフレーミング」を大切にしています。子どもの“できていないこと”に目を向けるのではなく、“やろうとしている姿”や“育ちつつある力”を見つけていくことです。その子の「今」をまるごと受け止めることが、次のステップへの力になると信じています。

子どもは、一人ひとりのペースで少しずつ慣れていきますので、どうか焦らず、温かく見守ってあげてください。ご家庭でも「今日も頑張ったね」「行けただけすごいわ」「あなたはあなたのままで大丈夫」と、肯定的な声かけでサポートしていただけると嬉しいです。その言葉がじんわりと心に届き、子どもの自信につながります。

そして、保護者の皆様も、もしご不安なことや心配なことがあれば、いつでも私たちにお話してください。私たちは、お子様の成長と一緒に喜び、一緒に見守るパートナーでありたいと思っています。

さあ、ワクワクするような毎日の始まりです。保護者の皆様も、充実した園生活を一緒に楽しんでくださいね。どうぞよろしく願いいたします。

最後に一つお知らせがあります。

せんりひじり幼稚園では、お誕生日のお子様にお誕生日バッジをつけてお祝いをしてきましたが、今年度より、お誕生日のお祝い方法を以下のように一部変更いたします。

これまで、園で誕生日バッジをつけてお祝いしておりましたが、体操や課外活動の際に外す必要があったり、活動の中でつけ外しが難しい場面もありました。

職員で話し合った結果、今年度からは、下の写真のような誕生日シールを作成し、誕生日月の前月末に各ご家庭に配布します。お便り帳のポケットに入れてお渡ししますので、誕生日当日にご家庭でつけて登園していただきますようお願いいたします。

ご家庭で身に着けて来ていただくことで、・朝から一日を通してお祝いの気持ちを大切にできる・活動中も安全に過ごせる・ご家庭でも誕生日を迎える喜びを共有できると考えております。また、お家で着け忘れたり、途中で外れてしまった場合は、園で予備のものを着けさせていただきますのでご安心ください。

可愛いお誕生日シールです。お手数をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

